

あけましておめ

皆様には、健やかに新年をお迎えることと思います。

さて、近年は、大きな災害が続いており、昨年は長野県と岐阜県に位置する御嶽山の噴火、広島県広島市の集中豪雨による土砂災害で多くの方がお亡くなりになりました。いつでもどこでも起こり得るのが災害だと感じるところであり、私たちの地域も有珠山の噴火災害のみならず津波や土砂災害などに対しても備えていく必要性を強く感じ、町民と一丸となって災害に強い町づくりをめざして参ります。

昨年は、箱根町と姉妹提携を結んで50周年を迎え、当町において記念式典、レセプションが開催され、箱根町からの訪問団と多くの町民が参加し、これまでの交流を振り返るとともに、今後変わらぬ両町の友好関係を誓い合いました。

11月には、成香の町道伏見橋が崩落する事故が起きました。幸い人的な被害などはなかったものでありますが、現在も道路が通行止めとなっております。町民の生活に欠かせない道路でありますので、一刻も早い復旧を目指して議会としても取り組んで参ります。

また、洞爺高校の閉校に伴う跡地

利用の活用、小中学校の適正配置など、喫緊の課題もありますが、議員が一丸となり取り組んで参ります。

なお、長年の課題となっておりました本町地区の硬水対策事業が、町の努力により早期に完了し、12月から洞爺湖のおいしい水が通水されるようになりました。

議会では、昨年5月より定例会・臨時会方式から、一年間を会期とする通年会期制となりました。会期が通年となったことにより、常に議会が活動できる状態となりました。

議会を開く日(定例会)はあらかじめ決まっていますが、必要なときはいつでも議会を再開することができます。本会議の多様な運営や災害時の緊急対応、委員会の活発な活動など、議会の主導的な活動に取組んでおります。今後とも皆さんの声が町政に反映されるよう議会も一所懸命取り組んで参りますので、本年も議会に對しまして変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この1年が平穏であり、皆様にとって良い年であるようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



洞爺湖町議会議長

千葉 薫